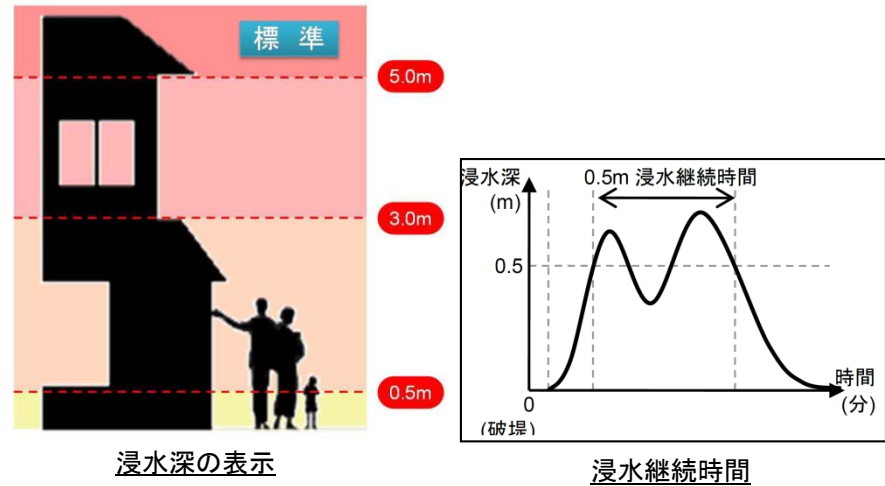


洪水浸水想定区域 浸水の継続時間

浸水の継続時間

- ◆ **浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間の最大値を図化したものが『継続時間図』です。**
- ◆ 浸水時には停電や上下水道等の機能停止が生じるため、長時間そのような環境で生活することは困難です。
- ◆ 浸水深と合せて垂直避難の可否や避難所の選定等に活用することが考えられます。
- ◆ **なお、緊急的な排水対策等は考慮していないので、目安としての活用に留意してください。**



<例>

避難行動	浸水深
避難行動が遅れた場合、高層階へ退避(垂直避難)	0.5m~3.0m未満
事前の避難が必須	3.0m以上



浸水深・浸水継続時間の両者より避難行動を判断

避難行動	浸水継続時間
事前の避難が必要	長期にわたり浸水が継続
避難行動が遅れた場合、高層階へ退避(垂直避難)	浸水が短期間で解消される

(鬼怒川の新聞記事)

- 鬼怒川の堤防が決壊した9月10日から排水ポンプ車による排水を行い、約40km²の浸水区域は16日10時20分には約2km²に縮小した。
- 9月19日までの10日間で宅地及び公共施設の浸水が概ね解消した。

